

# 問題を開いてから清書までの手順（病院採用試験・看護学校向け）

小論文はやみくもに書いても良い答案になりません。次のような手順、思考プロセスで書いていくとよいです。

- 1 問題を読み、答えるべきポイントを把握する
- 2 答案の柱を立てる
- 3 大まかな字数配分を考える
- 4 各柱の内容を箇条書きしていく
- 5 話の流れを整理する
- 6 清書
- 7 誤字脱字等のチェック

例えば次のような問題に対しての解答の手順を考えてみます。

## 例題

看護師として仕事をする上でのコミュニケーションの重要性と、それを踏まえてどのように仕事にあたっていきたいと考えるか、述べなさい。

### 1 問題を読み、答えるべきポイントを把握する

今回聞かれていることは…

- ・看護師として仕事をする上でのコミュニケーションの重要性
- ・それを踏まえてどのように仕事にあたっていきたいと考えるか

この二点がわかるように書いてくることが必要。

### 2 答案の柱を立てる

1を踏まえ、どんな話の流れにすればよいか考えます。

例)

○看護師の仕事の中でコミュニケーションがいかに大事かを述べる

- 自分が仕事の中でどのように他の人とコミュニケーションをとっていくかを述べる
- 全体のまとめ

### 3 大まかな字数配分を考える

どのパートにどれくらいの字数を当てていくべきかをイメージしておきます。問題の趣旨を考えれば、「看護師の仕事の中でコミュニケーションがいかに大事か」は議論の前提を示すという意味であり、ここに字数を割きすぎてはいけません。答案の力点を置くのは「自分が仕事の中でどのように他の人とコミュニケーションをとっていくか」の部分だと考えます。従って…

例)

- |                                 |         |
|---------------------------------|---------|
| ○看護師の仕事の中でコミュニケーションがいかに大事か      | 2～3割くらい |
| ○仕事の中でどのように他の人とコミュニケーションをとっていくか | 6～7割くらい |
| ○全体のまとめ                         | 1～2割くらい |

大体これくらいのイメージで書いていきます。

### 4 各柱の内容を箇条書きしていく

それぞれの柱にどんなことを書いていけばよいか、箇条書きしていきます。

例)

- 看護師の仕事の中でコミュニケーションがいかに大事か……

- ・看護師は様々な人とのコミュニケーションが欠かせない仕事。

例えば?) 患者さんに体調を尋ねる、家族に病状を伝える、医師の指示を患者さんに正確に伝える、他の医療スタッフと連絡を取り合う

- ・もし十分なコミュニケーションがないとどうなるか?

例えば) 患者さんに正確な情報が伝えられない。

- ・他の医療スタッフとも連携が取れない→最悪の場合医療ミスにつながる可能性。
- ・だから看護師の仕事にとってコミュニケーションは極めて重要。

- 仕事の中でどのように他の人とコミュニケーションをとっていくか

- ・私は病院の中で積極的にコミュニケーションを取る。

例えば?) 患者さんとの関係…

「体調はいかがですか」といった日々の声掛け。患者さんの訴えに耳を傾ける

他には?) 医師や同僚の看護師、理学療法士など他の医療スタッフとの関係…

挨拶、連絡や報告。患者さんのことを他のスタッフに伝える。ミスの報告。カンファレンスでの意見交換。

## ○全体のまとめ

- ・病院スタッフの一員として積極的にコミュニケーションを取る。
- ・そのことで患者さんや病院に貢献する。

このように、各柱に書くべきこと、知っていることをどんどん箇条書きしていきます。下書きでいきなり文章の形にすると時間がかかる上、話の順番を入れ替える必要が出てきたときにやりにくくなります。

## 5 話の流れを整理する

材料が揃ったら全体の流れを確認し、不要なものを削除したり順番を入れ替えたりして、話の流れを整理していきます。

## 6 清書

読みやすい字を心がけて清書します。薄い字や小さな字は読みにくいです。

## 7 誤字脱字等のチェック

書き終わった文章の誤字脱字等をチェックします。

最終的な完成形を以下に示します。

## 例題

看護師として仕事をする上でのコミュニケーションの重要性と、それを踏まえてどのように仕事にあたっていきたいと考えるか、述べなさい。

看護師は様々な人とのコミュニケーションが欠かせない仕事だ。患者さんに体調を尋ねたり家族に病状を伝えたりすること、医師の指示を患者さんに正確に伝えること、同僚の看護師など他の医療スタッフと連絡を取り合うことなど、仕事のあらゆる場面でコミュニケーションが必要となる。もし十分なコミュニケーションがなければ、患者さんに正確な情報が伝えられず、患者さんのニーズもくみ取ることができない。他の医療スタッフとも連携が

サンプル版はここまで